

貫入試験検査において検査員が現場検査を免除する要領  
(趣旨)

第1条 この要領は、貫入試験検査基準(昭和56年4月1日施行)第3条ただし書の規定に基づき、貫入試験検査(以下「貫入試験」という。)における立会いの省略について必要な事項を定める。

(定義)

第2条 この要領において次の各号に掲げる用語の意義は、次の各号に定めるとおりとする。

- (1) 現場検査 貫入試験における立会いをいう。
- (2) 免除 貫入試験検査基準第3条に規定する検査員が貫入試験の立会いを省略することをいう。
- (3) 企業者 東京ガス株式会社、東京電力パワーグリッド株式会社、日本電信電話株式会社、神奈川県企業庁水道営業所及び下水道管理者(相模原市長)をいう。
- (4) 免除業者 前号に掲げる企業者の占用工事の施工業者において、第2号に規定する貫入試験の立会いの省略を受ける者をいう。

(目的)

第3条 現場検査の免除は、占用工事の企業者等の資質の向上を図り、もって貫入試験に関する行政の迅速化を図ることを目的とする。

(現場検査の免除を受けられる要件)

第4条 占用工事の施工業者については、次の要件を満たした場合、現場検査の免除を受けることができる。

- (1) 免除を受けられる占用工事 第2条第3号に掲げる企業者が発注する占用工事であること。
- (2) 関係法令等の遵守 占用工事が、道路法(昭和27年法律第180号)、道路法施行令(昭和27年政令第479号)、道路法施行規則(昭和27年建設省令第25号)、その他関係法令並びに道路占用関係要綱及び要領の規定に従って施工されていること。
- (3) 貫入試験の実績等
  - ア 企業者及び施工業者が第1号に規定する占用工事における貫入試験(再貫入試験を除く。)について、1年間に申請件数が3件以上、貫入箇所が9箇所以上で80パーセント以上合格していること。

イ 貫入試験の受験態勢等の対応が良好であったこと。

(4) 付近住民への対応

施工業者が付近住民等に対し占用工事を道路上で施工することにより生活に影響を与えている立場を理解し、付近住民等に責任ある対応ができていること。

(5) 企業者の推薦が得られること。

(免除業者の決定等)

第5条 免除する占用工事の施工業者については、次の規定により免除業者を決定する。

(1) 企業者の推薦

ア 道路管理者は、年度末に当該年度に施工した占用工事で前条第3号アに規定する貫入試験の実績を企業者に送付する。

イ 企業者は、その実績に基づき現場検査を免除する施工業者を選択し、道路管理者にその推薦する施工業者の名簿及び推薦書を提出する。

(2) 道路管理者の審査

道路管理者は、前号に規定する名簿に記載された施工業者及びその占用工事について、前条の規定に従って審査する。

(3) 決定

道路管理者は、前号の審査により現場検査を免除することができる者を免除業者として決定する。

(現場検査を免除する占用工事及び期間)

第6条 現場検査を免除する占用工事は、翌年度に許可を受けたものとし、その免除する期間は翌年度の1年間とする。ただし、当該工事の工事期間が翌々年度にわたるものについては除く。

(決定した免除業者への通知)

第7条 第5条の規定により決定した免除業者への通知は、翌年度直ちに当該免除業者に行う。

(免除期間中の免除業者の貫入試験)

第8条 免除期間中の免除業者の貫入試験については、次の書類検査及び現場検査を行う。

(1) 書類検査

ア 書類検査は、道路占用許可申請書、工事写真等の工事の関係書類及び貫入

試験結果報告書、貫入試験状況写真等の貫入試験の関係書類により、占用工事について第4条第2号に掲げる法令等の貫入試験に関する規定に基づいて書類上で貫入試験するものである。

イ 占用工事の仮復旧の終了後、免除業者の企業者が現場検査を行い、その企業者が工事写真、貫入試験結果報告書の正副及び貫入試験状況写真を各1部検査員に提出し、書類検査を受けなければならない。

ウ 書類検査に合格した場合、免除業者の企業者は、貫入試験結果報告書の正副に確認済みの印を受けた後、その副本、工事写真等を受領する。

エ 書類検査に不合格となった場合、免除業者の企業者は、検査員の指示に従って再書類検査、現場検査及び占用工事をやり直した後の現場検査を受けなければならない。なお、現場検査については、次号の規定を準用する。

## (2) 現場検査

ア 現場検査は、前号アに規定する書類検査に合格した占用工事から任意に抽出したもの及び同号エに規定する書類検査に不合格となり現場検査を受けるものについて第4条第2号に掲げる法令等の貫入試験に関する規定に基づいて現場において貫入試験するものである。

イ 現場検査に合格した場合、前号ウの規定を準用する。ただし、同号アに規定する書類検査に合格した占用工事から任意に抽出したものの現場検査の合格の確認済みの印については、同号ウの規定する確認済みの印に隣接して押印する。

ウ 現場検査に不合格となった場合、その企業者は検査員の指示に従って再現場検査又は占用工事をやり直した後の現場検査を受けなければならない。

エ 現場検査においてその企業者は必ず立会わなければならない。

(免除業者の地位の継続又は取消し)

第9条 免除業者については、前条に規定する貫入試験の結果により地位の継続又は取消しをする。

## (1) 免除業者の地位の継続

前条第1号ウに規定する書類検査及び同条第2号イに規定する現場検査に合格した免除業者は、その地位を継続する。

## (2) 免除業者の地位の取消し

ア 前条第1号エに規定する再書類検査及び同条第2号ウに規定する現場検査

に不合格となった免除業者は、免除業者の地位を取り消す。

イ 免除業者が、第4条第2号及び第4号の規定に反する行為をしたときは、  
直ちに免除業者の地位を取り消す。

(免除業者の地位の取消通知)

第10条 免除業者の地位の取消し通知については、直ちに当該免除業者に通知するものとする。

附 則

この要領は、平成9年12月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成28年4月1日から施行する。